

医学系研究科

教育プログラムの名称：看護学専攻

授与する学位の名称：修士

【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院医学系研究科の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、教育プログラム（看護学専攻・博士前期課程）では、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「修士」の学位を授与します。

1. 科学的根拠に基づき、看護の現象、実践技術およびシステム上の課題を明らかにし解決するために、看護の研究を推進できる能力を獲得している。
2. 看護高度専門職業人として基本的人権擁護と高い倫理意識を有している。
3. 豊かな学識と高い見識を備え、基礎理論に基づく疾病予防と生活支援方法を開発・整備できる能力を身に付けている。
4. 現代社会が直面する看護・介護に関する諸課題についての教育・研究・実践活動を自律して展開できる能力を獲得している。
5. 多様なサービス提供の場にあつて、国内外を問わず学際的チームの協働・連携に寄与できる。
6. 自信が取り組むべき課題を基に、新たな研究領域にも挑戦できる能力を身に付けている。

【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院医学系研究科の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に沿って、看護学専攻（博士前期課程）の学生が体系的かつ主体的に学習できるように研究課程を編成し、これに従って教育を行います。

1. 幅広い知識と広い視野を備えた総合力を身につけるために、専攻領域の特論・演習・特別看護研究に加え、他領域の特論履修を定め、自由に選択できるカリキュラムを編成する。
2. 論文審査では、論理的思考・説明能力の育成を考慮し、論文審査基準を公表し、審査については公開制で実施する。
3. 看護高度専門職業人としての豊かな学識と高い見識を獲得するために、他面的で実践的な教育を展開する。

4. 学位にふさわしい、科学的根拠に基づく研究方法・研究成果の考察を踏まえた修士の学位論文を作成できるための適切な助言・研究指導を行う。
5. 学習成果の評価においては、不断の教育課程の点検・学生からの評価を組織的に行い、到達度を確認できる明確な成績評価基準を策定する。
6. 看護の現象への知識、看護研究の推進、看護・介護の理論・技術・システム・人材育成に対し、総合的・主体的・自律的に取り組む姿勢を評価する。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

看護学専攻では社会や看護界の要請に応えるため、高度の判断能力と実践力を身につけた高度実践看護職者の養成、並びに教育研究者の養成を目的としています。

看護学専攻の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・ 専攻したい看護領域における基礎知識を身につけている人
- ・ 倫理観を備え、科学的根拠に基づき、主体的に課題に取り組む意欲や探究心がある人
- ・ 広く学識の涵養に努めるとともに、教育・研究・看護実践活動にリーダーとして貢献する意志がある人

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- （１）一般入試（筆記試験、口頭試問、出願書類を総合して判定）
- （２）社会人入試（筆記試験、口頭試問、業績の評価、出願書類を総合して判定）